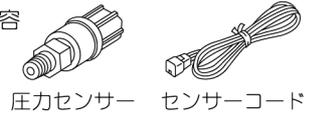
取扱説明書

SG-5PS 501用圧力センサー（油圧・燃圧共通）

●本品は、PIVOT 501（5 in 1 GAUGE）で、圧力センサー信号をセンサー配管して接続するための圧力センサーです。
●SGシリーズ・GEKKOシリーズの各製品に取り付ける場合は、製品本体付属の取扱説明書をご覧下さい。

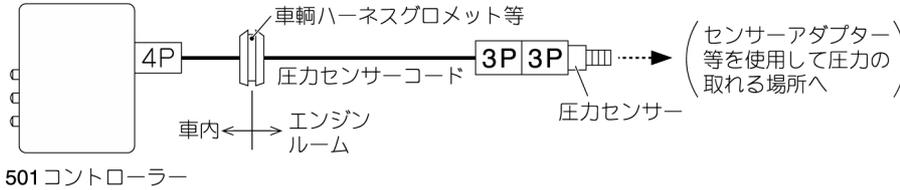
⚠ 作業上の注意

1. 安全のため、作業中は必ずバッテリー⊖端子を外して下さい。（検電時は戻す）
2. ギボシ類は確実に取り付け、絶縁処理をして下さい。
3. コードの引き回しは、ショートや断線のないようご注意下さい。

■セット内容

圧力センサー

センサーコード

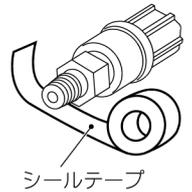
配線接続方法

※圧力センサー以外の配線接続については省略してあります。501取説本文と併せてご覧下さい。

①4Pカプラーの付いている方を、車輌ハーネスグロメット等を利用して車内へ引き込みます。
②圧力センサーとセンサーコードをカプラー（3P）にて接続します。
③4Pカプラーは501コントローラーウラへ接続します。

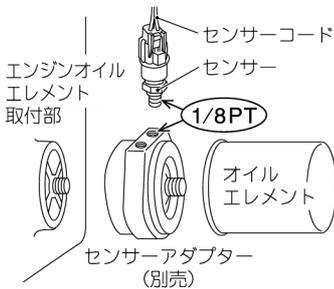
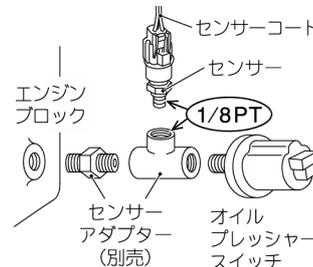
センサーの取付方法

⚠センサー取付時の注意

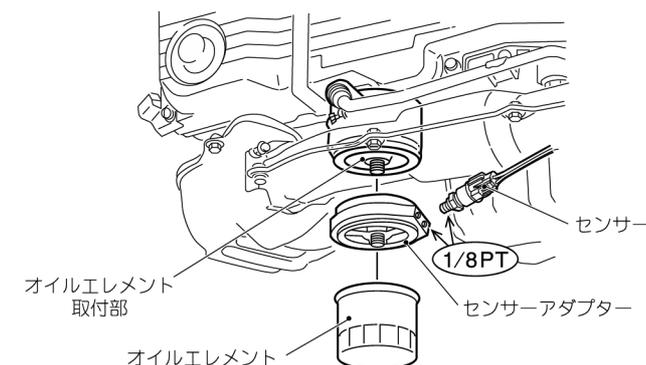
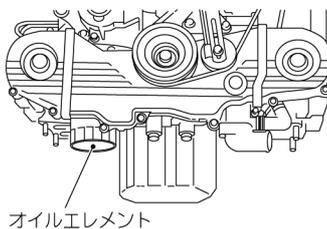
1. センサーアダプターの取付は確実に行い、液漏れ等ない様ご注意下さい。又、取付後は時々液漏れをご確認下さい。
2. センサーやコードに急な曲げやねじれが加わらない様、センサーアダプターの向きをよくご検討の上お取り付け下さい。
3. 走行後等のエンジン周りが熱い状態での作業は火傷やケガの恐れがありますので、冷えてから行って下さい。
4. センサーコードの接続は必ずセンサーを取り付けてから行って下さい。コードを接続したままセンサーを取り付けると、コードがねじられるようになり、断線等の原因となります。

●ネジ部に漏れ防止用シールテープを巻く等のシール処理を行って下さい。
●ネジ部はテーパーネジになっていますのでねじ込み過ぎないようにご注意下さい。

■油圧センサーの取付

⚠取り付ける場所に応じたセンサーアダプター（センサー取付部1/8PT＝別売、市販品可）をご用意下さい。

A オイルエレメント取付部の場合

B オイルプレッシャースイッチ取付部の場合

⚠スバル水平対向エンジンについて

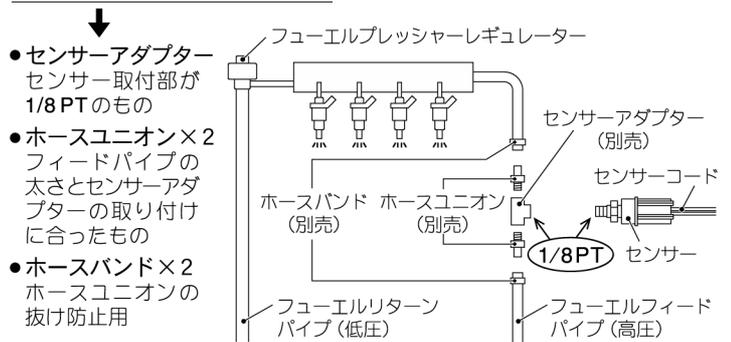
スバル水平対向エンジンの場合、オイルポンプにあるネジ穴を利用して油圧センサーを取り付けると圧力の脈動が大きく、瞬間的にフルスケールの3倍を越える為、センサーが破損する恐れがあります。この車種へお取り付けの際は、オイルエレメント取付部用のアダプターを使用して下さい。（下図）（オイルプレッシャースイッチ部も可。）

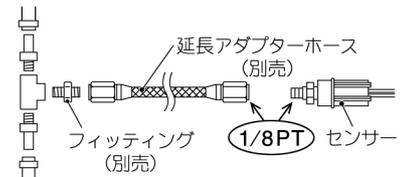
※エンジンを前方向から見て

■燃圧センサーの取付

⚠警告 センサー取付部はガソリンが高圧となる場所です。万一漏れが発生すると火災などが起こる恐れがあり大変危険ですので、一般公道での使用はおやめ下さい。

⚠フューエルタンクからフューエルプレッシャーレギュレーターの間のフィード（高圧）パイプ側へ取り付けます。
（リターン（低圧）パイプ側では正確な燃圧をとることができません。）

センサー取付用アダプター類（別売、市販品可）をご用意下さい。

- **センサーアダプター** センサー取付部が1/8PTのもの
- **ホースユニオン×2** フィードパイプの太さとセンサーアダプターの取り付けに合ったもの
- **ホースバンド×2** ホースユニオンの抜け防止用

◆延長アダプターホースを使用する場合

市販の銅パイプを使用したアダプターホースの場合はパイプをらせん状に巻く等、振動を逃がすよう配慮して下さい。又、振動影響の少ないステンレスメッシュホースを使用した延長アダプターホース（別売）をおすすめします。

■取付手順

⚠フューエルラインに作業をするため、必ず自動車メーカーの整備要領に従って燃料流出防止作業を行って下さい。

①フューエルフィードパイプを切断します。
②切断したパイプへホースユニオン、センサーアダプターを確実に取り付けます。
⚠各接続部から燃料漏れを起こさぬよう、確実に漏れ防止処理を行って下さい。
③センサーアダプターへ燃圧センサーを確実に取り付けます。

PIVOT CORPORATION　株式会社ピボット　〒390-0313長野県松本市岡田下岡田87-3　TEL0263-46-5901(代)